

GFP大規模輸出産地生産基盤強化プロジェクト採択地区の概要(香川県)

実施主体名	香川県
参画事業者	香川県、JA香川県、製粉会社、製麺事業者、輸出商社、金融機関、ジェトロ香川等
対象品目 対象国・地域	麺類（※）：米国、UAE、台湾、中国、香港、韓国、シンガポール、インド、EU ※県産小麦「さぬきの夢」を使用したうどん

推進体制の構築

- 輸出推進体制として「さぬきの夢」輸出推進プロジェクトチームを設置し、輸出支援プラットフォーム等と連携しながら、相手国の規制・ニーズ等の市場動向調査や効果的なプロモーションの実施に向けた検討を実施

生産の転換

- 輸出用「さぬきの夢」うどんの原料となる小麦新品種「さぬきの夢2023」の栽培面積を拡大するため、約100haを対象に既存品種からの転換を実施
- ターゲット国のバイヤーやシェフ招聘による「さぬきの夢」うどんの輸出を希望する県内製麺事業者等の生産体系改善のためのアドバイスの受入れ
- 輸出を希望する製麺事業者等に小麦粉のサンプルを提供して「さぬきの夢」うどんの試作を行うとともに、米国向け輸出に必要なPCQI講習を開催し、食品安全計画に基づく衛生管理体制を構築
- 製麺事業者等がターゲット国に渡航し、現地の市場調査を実施

流通の転換

- 輸出商社のコーディネートの下、ターゲット国へのサンプル輸送や製品輸出を8社程度の商品を混載して行うことにより、大ロット化や商品ラインナップの確保、輸送コスト削減を実証
- ターゲット国の飲食店等で、「さぬきの夢」うどんフェアを開催し、需要拡大への取組を実施

輸出額目標（百万円）

品目	令和4年度	令和7年度
麺類	19 	57

GFP大規模輸出産地生産基盤強化プロジェクト採択地区の概要(愛媛県)

実施主体名	愛媛かんきつ輸出促進協議会
参画事業者	遠赤青汁、愛媛県庁、遠赤農園、西南セーフティグループ、清五郎農園
対象品目 対象国・地域	かんきつ（※）：台湾をはじめとする東南アジア圏、北米 ※温州、紅まどんな、不知火、はるか、甘平、デコポン、璃の香等

推進体制の構築

- 推進体制メンバーによる定例戦略会議を開催
- 有機農業に関する基礎講座の実施や輸出先進地域との交流を実施

生産の転換

- 有機栽培方法による高付加価値化が謳えるかんきつ品種への改植・新植を進め、耕作放棄地の再生畑も活用しながら海外規制基準に対応した輸出用産地を拡大
 - ・レモン(璃の香)改植
 - ・ブラッドオレンジ（モロ種、タロ種）新植
 - ・文旦、温州への改植、紅プリンス新植
- 協議会メンバー間の縦横型連携により、温州みかんと中晩柑の組合せによる輸出用かんきつの増産と通年輸出の実現を推進
- かんきつ品種別の最適な有機栽培方法について、データ蓄積、マニュアル化、定期的な研修会を実施
- 現地調査による海外ニーズを取り入れたかんきつ加工品（リキュール、ドライフルーツ、ゼリー、ジュース等）の開発や協議会統一ラベルによるブランド化（日英中対応）を実施

流通の転換

- ブランド化に伴う統一の出荷ケース、商品ラベルの作成によるコスト削減を実施
- 協議会のWebサイト作成（日本語・英語、アジア、欧米をターゲット）、SNSによる継続的な情報発信、Youtube P R動画の作成（動画は催事でのプロモーションで再生する）等の活用によるブランド認知度向上を実施
- 台湾の週年慶時期のギフト贈答需要の百貨店でのプロモーションや、米国ECサイト Umami Insiderで特設サイトを開設し、協議会のブランド商品のテストマーケティングを実施するとともに、現地小売店での店頭のフェアを実施

輸出額目標（百万円）

品目	令和4年度	令和7年度
かんきつ	0	1

GFP大規模輸出産地生産基盤強化プロジェクト採択地区の概要(愛媛県)

実施主体名	えひめ愛フード推進機構
参画事業者	愛媛県、愛南町、えひめ南農協、三友企業、KSLeleman Consulting Sarl、Expolin
対象品目 対象国・地域	河内晩柑：EU、スイス

推進体制の構築

- 輸出推進体制として「misho輸出推進協議会」を組織化するとともに、パリの輸出支援プラットフォーム等と連携し、青果物流通に関する情報収集や販路開拓を実施

生産の転換

- EU、スイスの残留農薬基準に対応するため、園地を借上げテスト栽培やみかん研究所と連携した残留農薬試験・分析を実施するほか、慣行栽培の半分以下の薬剤数での減農薬栽培試験を実施
- 出荷・梱包作業を既存の選果場で行えるよう、次亜塩素酸ナトリウム浸漬作業に使用するタンクや選果ラインを整備
- 新規に輸出に取り組む生産者への指導や研修会の開催、新規に登録する輸出園地の整備を実施

流通の転換

- 欧州までの船便による効果的・効率的な保存・輸送方法確立のための輸送実証や腐敗果対策を目的とした輸送資材の改良を実施
- 現地小売店にてテスト販売を行い、消費者ニーズの把握や効果的な販売方法の検証を実施

輸出額目標（百万円）

品目	令和4年度	令和7年度
かんきつ	0	3.0

GFP大規模輸出産地生産基盤強化プロジェクト採択地区の概要(福岡県、佐賀県)

実施主体名	北部九州いちご輸出促進協議会
参画事業者	UluuJapan、うるう農園、福岡ストロベリーパーク、佐賀県、日本農業
対象品目 対象国・地域	いちご：台湾、タイ、シンガポール、香港、マレーシア

推進体制の構築

- 福岡ストロベリーパーク参加農家は作付面積の更なる拡大に取り組むとともに、参加者を、筑後川流域を中核とした地域に広く拡大し、北部九州いちご輸出促進協議会を組織化
- 関係者が一度に会する「北部九州いちご大規模輸出産地フォーラム」を開催

輸出額目標（百万円）

品目	令和4年度	令和7年度
いちご	6.9	70

生産の転換

- 台湾向けに経済性の高いいちご栽培技術の確立するため、
 - ①生物的防除、物理的防除(ハダニ殺虫システム)、非化学農薬(UV-B電球)等を組み合わせたIPM(総合的病害虫・雑草管理)プログラムを最適化
 - ②室温、湿度、水分量、土壌肥料分等の栽培環境情報を収集し、栽培温度、散水量、施肥量等を最適化
- こうした内容を栽培技術として動画やマニュアル化し、協議会参加企業に共有するほか、他の先進農業法人(宮城・北海道)や韓国のいちご生産団地の視察を実施
- 今後の有機栽培の可能性を学ぶべく、オンラインを通じて有機栽培技術の勉強会を開催
- 「あまおう」と比較して日持ちの点で優位性がある「いちごさん」「恋みのり」「白いちご」等の試験栽培、新品種の開発、規格外いちごを加工して輸出するための製品開発を実施

流通の転換

- 生産されたいちごについて、うるう農園に集約化して台湾に出荷することで、品質管理体制等を確立
- 輸出の受発注に関するシステムの導入やいちご輸出に的した梱包資材の開発を実施
- 台湾、シンガポール及びタイの展示会に出展するとともに、現地のターゲットとなる小売・外食店舗・卸売市場等の視察も行い、競合国の商品の状況・日本産の可能性の市場調査を実施
- ホワイトチョコレートを含侵させたフリーズドライのいちごなどをうるう農園が開発し、国内において人気が高い加工食品を展示して、加工食品の輸出可能性の調査を実施
- 展示会等で関係性を構築した海外の有力バイヤーを北部九州に招聘し、生産技術や産地・商品の魅力をPR
- 福岡空港からの輸出ルートに代えて佐賀空港からの輸出ルートを活用した輸送実証を実施